

目次

日本情報考古学会第22回大会開催の案内.....	1
日本情報考古学会第21回記念大会報告.....	3
日本情報考古学会学会賞のご紹介.....	5
堅田直先生 瑞宝小授章受賞のお祝い.....	5
会費納入のお願い.....	5
会報への広告掲載について.....	6

日本情報考古学会第22回大会**早稲田大学(東京)開催のご案内**

日本情報考古学会 第22回大会の開催が下記のように決まりましたので、ご案内いたします。第22回の大会では、開催校をお引き受けいただきました早稲田大学考古学研究室がリードしておられる“海外考古学”と情報考古学に関するテーマで、特別記念講演をお願いしております。また、これまでの大会と同様に、一般講演につきましても、多くの学会員の参加をお待ちしております。

日時：平成18年9月23日(土)、24日(日)

会場：早稲田大学戸山キャンパス

第22回大会実行委員長：菊池徹夫

(早稲田大学文学部)

開催校実行担当事務：持田大輔

(早稲田大学文学学術院)

大会実行事務局：津村宏臣

(同志社大学文化情報学部)

23日(土) 一般講演

24日(日) 一般講演・特別記念講演

〈研究発表の募集につきまして〉

第22回大会におきましては、特に海外調査における情報技術の適用や応用実践などの研究、その研究

の社会への還元、デジタルアーカイブなどにつきまして講演・発表をお願いしたく考えております(一般的内容のご発表も歓迎いたします)。申し込みを頂きました内容につきましては、事務局ならびに大会実行委員会、理事会などを通じ、厳正に査読を実施させていただきます。改めまして、発表者に結果のご連絡をさせていただきたいと思っております。会員の方々のご理解とご協力をお願いいたします。

第22回大会の一般講演での発表をご希望の方は、

- ・発表題目
- ・発表者
- ・所属
- ・連絡先 (※住所・電話・ファックス・電子メール)
- ・発表に使用する機器等
- ・発表要旨 (※400字程度)

を電子メール、ファックス、郵送のいずれかで以下の申し込み先までお申し込み下さい。

申込先：

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3

同志社大学文化情報学部 津村研究室内

日本情報考古学会事務局

Tel./Fax. : 0774-65-7664

E-mail : htsumura@mail.doshisha.ac.jp

(今夏におこなわれます、同志社大学の情報システムリプレイスに伴い、上記アドレスに送付した場合、不都合が生じる場合が想定されます。その場合には、お手数をおかけいたしますが、gis_archaeologist@yahoo.co.jp にも同報メールをお送りいただければ幸いです。)

申込〆切：平成18年8月15日(火)

なお、講演申し込みにつきましては、下記から申込用のフォームをダウンロードいただき、ご利用いただいても結構です。また、電子メールをご利用の方は、上記項目を記したファイルを添付してお送りいただいても結構です。よろしくお願いいたします。

※申込用フォームダウンロード先

http://www.cis.doshisha.ac.jp/htsumura/JSAI/Taikai/taikai_moushikomi.doc

または

http://www.cis.doshisha.ac.jp/htsumura/JSAI/Taikai/taikai_moushikomi.pdf

<研究発表の内容などについて>

1) 発表内容

遺物・遺構形状の計測・評価技術、あるいはそれらのデータの分析、理化学的データの収集とその解析手法、考古学的事象をめぐるコンピュータ・シミュレーション、インターネットなど新たな通信基盤を介しての研究者間のデータ共有、多様な考古学的情報に関わる幅広い分野の学際的研究を募ります。

2) 発表時間

質疑応答を含んで、発表1件当たり30分を予定しています。(発表件数などによって変更することがありますのでご了承ください。)

3) 予稿集原稿提出

予稿集原稿はA4版で6枚程度です。原稿の枚数を厳守の上、偶数ページに収まるよう作成下さい。原稿作成の詳細につきましては、発表申し込みの受理の結果と併せてご連絡させていただきます。また、予稿原稿には必ず600字程度の要旨(日本語・英語)、をつけて下さい。この要旨は、学会誌『情報考古学』に大会発表報告として掲載されますので、あらかじめご了承ください。

送付先:

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3
同志社大学文化情報学部 津村研究室内

日本情報考古学会事務局

Tel./Fax.: 0774-65-7664

E-mail: htsumura@mail.doshisha.ac.jp

(今夏におこなわれます、同志社大学の情報システムリプレイスに伴い、上記アドレスに送付した場合、不都合が生じる場合が想定されます。その場合には、お手数をおかけいたしますが、gis_archaeologist@yahoo.co.jp にも同報メールをお送りいただければ幸いです。)

申込〆切: 平成18年9月1日(金)

4) 予稿集の編集について

ご送付いただいた原稿を直接写真製版いたしますので、筆者による校正の機会はありません。完全原稿を御提出下さい。なお、提出された予稿の原稿は、原則として返却いたしません。予め各自でコピーを保存して下さい。

5) 発表資格

発表者に一人以上の会員が含まれることが応募の条件となります。

6) 発表機材

OHP プロジェクタと液晶プロジェクタが利用できる見込みです。その他の機材が必要な方は、事務局に御相談ください。

<特別記念講演>

今大会では、国際日本文化研究センターの宇野隆夫教授に、『シルクロード考古学研究と情報考古学』と題した講演をお願いして



おります。海外調査における情報考古学の展開について、特に先生が推進されておられるGPSを用いた高精度測量や、GISによる遺物・遺跡分布情報アーカイブなど、最先端の情報技術を適用した実践事例に関して、お話しを頂く予定です。特にウズベキスタンでおこなわれております調査の最新の成果をご紹介します。皆様のご参加をお待ちいたしております。

日本情報考古学会第 21 回記念大会報告

日本情報考古学会第 21 回記念大会は、平成 18 年 3 月 25 日(土)、26 日(日)の二日間、帝塚山大学学園前キャンパスにおいて、帝塚山大学のご協力を得て、開催されました。大会において発表された研究内容は以下の通りです。

〈第一日目〉

研究発表 1

石井好・永井康寛
鏡の東遷・東遷説の証明



研究発表 2

中島睦夫
我が国の国家形成とその展開



研究発表 3

西村淳
前方後円墳の高さの規格(4)



研究発表 4

三辻利一・福永信雄
鬼虎川遺跡出土土器の蛍光 X 線分析



研究発表 5

小川司・八重樫純樹
考古遺跡データに関する海外の標準化研究



研究発表 6

阿児雄之・亀井宏行・相澤洋太
近接性に基づく考古学情報抽出支援



研究発表 7

植木武・波多野賢治・植村俊亮ほか
古墳文化シソーラス作成



研究発表 8

小林大地・亀井宏行・橋本泰一ほか



土器の形状情報を利用した器種判別支援手法

研究発表 9

談躍文・後藤敏行・柳下秀樹ほか
鏡面反射物に対する
三次元形状計測法の改良



研究発表 10

川手正之・後藤敏行・植木武
スパースな三次元遺構データからの
形状復元



研究発表 11

竹内啓二 中国における尺以下、
八進法による採寸例



研究発表 12

河嶋壽一・篠田潤一・岡野卓也ほか
西本願寺御影堂の紋章の
3 次元デジタル復元への試み



研究発表 13

三好裕樹・金谷一朗・岡本篤史ほか
距離画像 ID タグの開発と
その考古調査への応用



研究発表 14

近藤康久
GIS を用いた先史漁労活動の解析



研究発表 15

榛葉健太・亀井宏行・阿児雄之ほか
鹿児島県指宿平野における
火山罹災による生活史の変遷



研究発表 16

渡部展也
考古学 GIS における基盤空間情報
としての CORONA 画像利用とその補正手法の研究



〈第二日目〉

日本情報考古学会 10 周年記念シンポジウム

『遺跡をめぐる時空間情報を読む —考古学 GIS の現状と展望—』

今大会では、本学会 10 周年の記念として、上記のシンポジウムを開催いたしました。当日は会員・非会員を含め、100 名前後の参加者があり、白熱した議論がおこなわれました。



イントロダクション 実践考古学 GIS

現状の経緯と課題を明確に

津村宏臣 (同志社大学)

◎ 時空間情報の取得・管理編

遺跡時空間情報の取得について

宮原健吾 ((財)京都市埋蔵文化財研究所)

遺跡情報の標準化について

村尾吉章 ((株)日本 IBM) ほか
空間データベースの構築と情報処理技術について

八重樫純樹 (静岡大学)

情報の公開・共有について

藤田晴啓 (東洋大学)



村尾氏



八重樫氏



藤田氏

◎ 遺跡時空間情報の解析・処理編

古環境復原と貝塚立地・分布解析と遺跡存在予測

津村宏臣 (同志社大学) ほか

眺望分析と可視域連鎖のパターンについて

宇野隆夫 (国際日本文化研究センター)

時空間シミュレーションの視点と古代社会について

新納泉 (岡山大学)



津村氏



宇野氏



新納氏

◎ まとめと展望

情報考古学・考古学 GIS で歴史を読むということ

宇野隆夫 (国際日本文化研究センター)

◎ パネルディスカッション

司会：宇野隆夫・津村宏臣

パネラー：シンポジウム講演者

2) 特別記念講演

GIS と情報考古学

泉拓良 先生 (京都大学)



一般研究発表につきましては、次号以降の学会誌『情報考古学』に掲載の予定です。また、別紙にありますように、記念シンポジウムを GIS の専門雑誌、「GIS NEXT」誌に取材いただきました。

日本情報考古学会 学会賞のご紹介

日本情報考古学会第21回記念大会におきまして、次の方々が平成17年度の学会賞を受賞されました。学会大会終了後、賞状と記念品の授与式が行われました。謹んでお慶び申し上げます。

日本情報考古学会 学会賞 八重樫純樹 殿

日本情報考古学会 論文賞 堀川忠弘 殿
後藤敏行 殿
大竹幸恵 殿
植木 武 殿

※ 情報考古学 10 巻 2 号

「画像処理を用いた黒曜石の表面形状計測法」

日本情報考古学会 優秀賞 永瀬史人 殿

堅田直 会長 受賞のお祝い

本会、堅田直会長が、瑞宝小授章を授章されました。受賞は「教育研究功労」の分野で、考古学界において情報考古学分野を切り開き、現在も、力強く学界をリードされておられる功績がたたえられました。日本情報考古学会第21回記念大会におきまして、事務局から花束の贈呈をさせていただきました。

お祝いに際し、堅田先生より、受賞のお言葉として、会員の方々への感謝を述べられました。また、これまでの日本情報考古学会の歩みを振り返られ、今後のさらなる進展を祈念されとのことでした。



雑誌『情報考古学』論文募集

本学会学会誌『情報考古学』の次号 Vol. 12, No. 1 は、次回大会時に刊行・配布予定です。多くの会員の方からの投稿を期待しております。投稿に関するご連絡および投稿は、下記の植木会誌編集委員会委員長までお願いいたします。

連絡先：

〒101-8433 東京都千代田区一ツ橋2-2-1

共立女子短期大学生活科学科

植木武(会誌編集委員会委員長)

Tel : 03-3237-2524

Fax : 03-3237-2692

会費納入のお願い

今年度、学会事務局を移転いたしました。会計などの事務処理をよりスムーズに移行することなどを鑑み、本年度より新たに振り込み用の銀行口座を開設いたしました。また、当分の間、従来の郵便口座ならびに銀行口座も利用できる体制を維持いたします。本年度の会費未納入の会員の方につきましては、改めまして、下記口座の方に、会費5000円の納入をお願い申し上げます。また、領収書につきましては、事務局宛に請求をいただけますと、会費の納入が確認でき次第、折り返しお送りさせていただきます。会員各位におかれましては、学会運営をスムーズに行うため、なにとぞ会費の納入にご協力をお願い致します。また会員数の増加も緊急の課題です。会員数倍増に向けご協力をお願い致します。

会費納入先：

銀行振込（※こちらを優先的にお願いいたします）

振込先 南都銀行 京田辺支店

口座番号 普通 0301986

名称 日本情報考古学会事務局 津村宏臣

郵便振込（従来の振込用紙もご利用いただけます）

口座番号 01040-2-30981

名称 日本情報考古学会事務局

会報への広告掲載募集

日本情報考古学会報に、今後も継続的に広告を掲載し、会報の郵送費等に当てることができればと考えております。会員の皆様もお心当たりがございましたら、ご紹介下さい。

日本情報考古学会会報 No. 20

発行 日本情報考古学会

2006 年 7 月 31 日

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3

同志社大学文化情報学部 津村研究室内

日本情報考古学会事務局

Tel./Fax. : 0774-65-7664

E-mail : htsumura@mail.doshisha.ac.jp

日本情報考古学会 講演論文集

(第 21 回大会)

Papers and Proceedings of
Japan Society for Archaeological Information

Vol.1 / 2006

(通巻 21 号)



日本情報考古学会

日本情報考古学会第 21 回大会講演論文集の残部がございます。
購入をご希望の方は、上記事務局宛にメール・FAX にてご連絡ください。

価格 会員 1500 円 非会員 2000 円